



とちぎマイスター「機械保全（機械系保全作業）」の技能の例

身に付けた技能で多種多様な生産設備の安定稼働と予防保全に努める

なかみがわ

かつみ

中三川

克巳

栃木市在住

(株)小松製作所 小山工場（総務課 TEL 0285-28-8110）

積み重ねた知識・技能をもとに適切な保全業務を行う

（現在の仕事）

建設機械の油圧機器生産工場で、加工・組立・テスト・塗装・出荷ラインまでの生産設備全般の保守・管理を行っている。また、近年は社内教育にも力を入れている。

（得意な分野）

これまで積み重ねてきた知識、技能と経験を活かして、多種多様な生産設備の故障の原因を解析し、再発させない改善処置を施すことができる。

前もって故障箇所に見当をつけ、設備が無事稼働したときには強い達成感を感じる。

腕こそが第一、蓄積した技術・技能と先端技術の両立

生産システムの信頼性向上と稼働率安定のため、工作機械の修理には、パソコンと専用ツールを用いて動作不具合の原因を素早く発見することが求められる。保全には、いち早く回路をつくり要求される動きを正確に完成させることが求められる。

そのため機械保全はもちろん、機器の機能・構造、リレー制御、配線などの知識・技能をしっかりと身に付けることが必要である。

若い人には、基礎を軽視せず、幅広い技能士資格の取得などを通じて、一人前の保全マンを目指していただきたい。

